

# かわじま 議会だより

No.  
148



おはなし、たのしいね！（七つの祝い / 中山公民館）

## Contents

新年のご挨拶	2
12月定例会概要	3
委員会の動き（12月定例会）	4
各議員の賛否	5
町の考えを問う（一般質問）	6～10
特別委員会報告、議会活動レポート	11
川越地区消防組合議会報告ほか	12



川島町議会の  
ページはこちら

令和7年2月1日発行  
埼玉県川島町議会

# 安心して暮らせる世界に

## ～新年のご挨拶～



川島町議会議長

道祖土 証

新年、明けましておめでとう  
ございます。

皆様には、ますますご健勝の  
こととお慶び申し上げます。

昨年の1月1日に発生しまし  
た能登半島地震では、多大な被  
害を受け、さらに9月の豪雨災  
害により復旧が思うように進ま  
ず、復興には多くの時間がかか  
るのではないかと言われており  
ます。一日も早い復旧・復興を  
願っています。

さて、まもなく3年が経過す  
るロシア・ウクライナ戦争は、  
依然として停戦のめどが立たず、  
また、世界各地で紛争なども絶  
えません。そのために、立場の  
弱いお年寄りや女性、そして多  
くの子どもが犠牲になっていま  
す。

一日でも早く、平和な世界に  
なることを願ってやみません。

国内に目を転じますと、いまだ  
にバブル崩壊以後続く不況から  
脱却することができず、2023  
年の日本の一人当たり労働生産  
性はOECD加盟38か国中32位  
で、G7では最下位という惨憺  
たる結果となっています。

また、貧富の格差が広がり、多  
くの国民は、給料が上がらない  
中、諸物価の高騰により実質賃  
金はマイナス成長という苦しい  
生活が続いています。

その反面、1億円以上を自由に  
動かせる超富裕層の人口は、ア  
メリカに次いで世界第2位。30  
年前の日本は、中間層が8割い  
ると言われていましたが、今では、  
1割の超富裕層に2割の富裕層

と2割の中間層、残りの5割が  
貧困層になっているそうです。

一人でも多くの人たちが、安  
心して暮らせる日々を実現して  
ほしいと願っています。

我が町では、桶川市とのごみ  
処理広域化を進める「川島桶川  
資源循環組合」の設立や圏央道  
川島インターチェンジ南側地区  
開発、さらには大手ビジネスホ  
テルチェーンの誘致等が進んで  
おり、町が大きく変わろうとし  
ています。

本年の干支は「乙巳」、「巳」年  
であります。へびは、古くから  
豊穡神・天候神として信仰の対  
象とされ、また、脱皮を繰り返  
すことから「復活と再生」を連  
想し、不老長寿や強い生命力に  
つながる縁起の良い動物と考  
えられています。今年こそ、戦争  
や災害のない、人々が安心して  
暮らせる世界になることを祈っ  
ています。

町議会といたしましても、町  
民の皆様の声に応え、引き続き、  
川島町の発展と安全・安心な町  
づくり、議員一同、尽力して  
まいります。

結びに、令和7年、2025  
年が皆様にとって良い年となり  
ますようお願い申し上げます。新年  
のご挨拶といたします。



(後列右から)  
山崎議員  
粕谷議員  
渋谷議員  
小峯議員  
為水議員  
坂本議員  
井上議員

(前列右から)  
菊地議員  
加藤議員  
森田議員  
道祖土議長  
柴田副議長  
矢内議員  
小高議員

## 地域活動センターの設置や一般会計補正予算など17議案を可決

令和6年第5回川島町議会定例会は11月28日から12月6日までの会期9日間の日程で開かれました。専決処分承認や条例の制定改廃、一般会計補正予算など17議案を審議し、全ての議案を可決、承認、同意しました。また、請願1件が提出され、審議の結果、不採択となりました（各議案に対する議員の賛否は、5ページをご覧ください）。

〈議案第72号〉川島町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

### トピックス 1 町議会議員の期末手当が0・1月分引き上げられました

令和6年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、町議会議員の期末手当を0・1月分引き上げること可決しました。

〈議案第73号〉町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

### トピックス 2 町長・副町長・教育長の期末手当が0・1月分引き上げられました

令和6年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、町長、副町長及び教育委員会の教育長の期末手当を0・1月分引き上げること可決しました。

〈議案第74号〉川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

### トピックス 3 職員の給料月額及び特別給（期末手当、勤勉手当）が引き上げられました

令和6年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、公民格差の状況等を考慮し、職員の給料月額を引き上げること可決しました。また、特別給（期末手当、勤勉手当）についても、0・1月分引き上げること可決しました。

〈議案第76号〉川島町地域活動センター設置及び管理条例を定めることについて

### トピックス 4

## 令和7年4月1日から川島町地域活動センターが設置されます

長年、地域の発展に寄与してきた公民館を廃止し、令和7年4月1日から川島町地域活動センターを設置する条例を、賛成多数で可決しました。

主な質問は次のとおり

**Q** 中山公民館や伊草公民館旧館は、令和7年度も使えると聞いているが、個別施設計画に影響はないのか。また、フラットピアの拡張も考えはあるのか。

**A** 公民館の除却は順次、進めており、教育委員会と調整し、解体までの間は今までどおり使用できます。フラットピアの拡張については、活動の制限にならないよう検討していきます。

**Q** これまで、公民館総合補償制度に基づく保険をかけていたが、今後、どのような対応になるのか。

**A** 今後も保険に加入しますので、センターの所属団体については、これまでと同様に補償の対象になると考えています。

**Q** 旧小学校は、いわゆる廃校条例で当該施設を利用して公民館活動等を行うことが認められているが、公民館自体が廃止されることで、傘下の団体

はどのような根拠で利用できるのか。また、廃校施設は「別館」という位置づけにできないのか。

**A** 公民館に所属する各種団体については、地域活動センターに代わっても、引き続き、活動できるように検討しています。廃校施設は、現在もその利活用について検討しているところであり、条例案には「別館」として加えていません。



▲「地域活動センターウェスト」となる、ふれあいセンターフラットピア川島

# 総務経済建設常任委員会

◆議案第82号 一般会計補正予算(第6号)

## 不法投棄(堤外)の対策

**問** 道路障害物撤去委託料250万円を計上しているが、今後の防止対策は。

**答** 三ツ又沼ビオトープ付近では、予防対策として、県所有の防犯カメラの設置を要請したほか、町所有の赤外線防犯カメラをビオトープの駐車場に設置しました。さらに、センサーライトの設置も検討しています。

◆議案第82号 一般会計補正予算(第6号)

## 古民家(旧管間邸)の利活用

**問** 古民家利活用管理・運営委員会は、営利を目的とした運営をするのか。

**答** 運営に関しては古民家利活用管理・運営委員会が直接行うのではなく、町が主体的に行うのか、民間の力を入れて行うのかを検討していきます。光熱水費等はこちらですので、ランニングコスト分の負担を考えています。

◆議案第83号 下水道事業会計補正予算(第3号)

## 飯島3号雨水幹線付帯工事

**問** 当該工事は、出水期にはできないと思われるが、今年度に完成するのか。

**答** 今年度の完成を目指していますが、スライドゲートの製作に日数がかかることから、工期に間に合わないことが考えられます。場合によっては予算繰越も視野に入れて対応したいと考えています。



▲学校給食センターに設置されたLPガス災害用バルク

## 学校給食センターのLPガス災害用バルクを視察

委員長のコメント

学校給食センターでは、給食調理施設のボイラーが老朽化していたことから、環境保護の面を考え、重油からLPガスに切り替える工事を行いました。

委員会では、LPガス災害用バルク※の設置によって、災害時でも炊出しができることや長期停電への備え、対応等を確認してきました。

※LPガス災害用バルクとは？  
LPガスを備蓄する貯槽(タンク)と供給装置(ガスメーター、調整器、ガス栓等)が一体となった設備です。

# 文教厚生常任委員会

◆議案第71号 印鑑条例の一部改正

## 印鑑条例の一部改正について

**問** もともと持っていた印鑑登録証をなくしてしまった場合、改めて登録をするのか。

**答** 印鑑登録証をなくしてしまった場合、悪用されるリスクもありますので、一度廃止の手続きをしてから、再登録していただくようご案内します。

◆議案第76号 地域活動センター設置及び管理条例

## 地域活動センターの設置について

**問** 町民の理解は得られたと考えてよいか。また、減免制度はどのようなものか。

**答** 地域の皆様には理解していただいたと考えています。また、減免の基準に、活動センターの様々な行事等にご協力をしていただくこと、団体による各種講座の開催や施設の清掃などを設けていきたいと考えています。

◆議案第84号 工事請負契約の締結

## 工事請負契約の締結について

**問** どのような工事をするのか。また、ゼロ債務とは。

**答** 環境センター2階にある中央制御装置部分の入替工事です。新施設稼働までの期間の延命措置として修繕するものです。また、ゼロ債務ですが、今年度の支払いがないことを明確にするため、工事の名前に「ゼロ債務」と加えたものです。



▲「地域活動センターイースト」となる、コミュニティセンター

## 地域住民の自主的な活動を期待

委員長のコメント

今回、川島町地域活動センター設置及び管理条例案を審議しました。新たな地域活動の拠点として、コミュニティセンターが「地域活動センターイースト」に、ふれあいセンターフラットピア川島が「地域活動センターウエスト」に生まれ変わります。また、伊草公民館新館は「ウエストキズナ」、三保谷公民館は「イーストみらい」という別館になります。地域の皆様の自主的な活動が期待されます。



# 町の考えを問う

12月4日、5日に町政一般質問が行われ、9人の議員が登壇しました。各議員の発言事項と、その概要は次のとおりです。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。  
※質問議員下の二次元コードを読み取ると、録画した動画を見ることができます。

**矢内 秀憲 議員**

- 1 元気高齢者支援対策について
- 2 鳥羽井沼周辺整備の追求質問について

**坂本 順子 議員**

- 1 聴覚補助器等の積極的な活用への支援について
- 2 かわみんタクシーの十分なサービスと各種割引について
- 3 危険な交差点の対策について

**菊地 敏昭 議員**

- 1 防災体制について
- 2 安心して暮らすための河川整備について
- 3 緑ある安心の空間整備について

**小高 春雄 議員**

- 1 税を考える週間から見た支え合う地域づくりについて

**加藤 進 議員**

- 1 秋のイベントについて
- 2 不登校児童・生徒に対する取り組みについて

**山崎 宜佳 議員**

- 1 かわしまフンタン祭の総括について
- 2 闇バイトや特殊詐欺に対応する安心のまちづくりについて
- 3 「高校生を応援！電子マネー配布事業」の経過について

**渋谷 幸司 議員**

- 1 給食費の無償化と地場産野菜の活用について
- 2 マイナンバー保険証の登録解除について

**粕谷 克己 議員**

- 1 我が町の地球温暖化対策について
- 2 気候変動に伴う水害対策について
- 3 かわみんタクシーの運行について

**井上 智恵 議員**

- 1 通学路の危険個所の整備について
- 2 動物愛護について

問

鳥羽井沼の整備や運用にはぜひ、地元住民との協働を

答

鳥羽井沼自然公園を愛する会の皆様と一緒に進めます

矢内 秀憲 議員



問 「令和4年6月議会」の一般質問「鳥羽井沼を都市公園化してパークキュー広場などの整備はいかがか」との質問に、「都市公園化を視野に入れて整備の早期実現を進めます」との答弁があったことに対する質問である。経緯は、小見野地区鳥西・鳥東のかたを中心とする「鳥羽井沼自然公園を愛する会」の皆様の日常の活動が認められたことにほかならない。今回の質問は、町からの説明に「町内の地域資源活用に向けて、鳥羽井沼の土地利用方法に関する事業パートナーを選定した」とあったが、事業パートナーの目的と役割は何か。また、土地利用に対する同会との協働について町の考えは。

答 事業パートナーを選定した目的は、その知見や官民連携による資源活用です。役割は町の目的に沿い、鳥羽井沼周辺に多くの人が集うための整備を行うことです。また、「鳥羽井沼自然公園を愛する会」との協働は、地元の意見を聞きながら進める形での実施を考え、

同会と一緒に進める予定です。

問 事業パートナーを設ける方法についてのメリットとデメリットはどのように考えているのか。

答 メリットは、町に土地の賃料が入ります。また、運営事業費は事業パートナーが賄います。デメリットほどではありませんが、いかに民間活力を上手に活用できるかどうか、考えています。

問 現在の「いも掘り体験会」などへの賄い費継続支援をぜひ。事業者として協力します。



▲鳥羽井沼自然公園を愛する会主催の「いも掘り体験会」

**問** 聴覚補助器等の積極的な活用への支援は

**答**

前向きに具体的な検討をしてみたいです



坂本 順子 議員

**問** 埼玉県内で加齢性難聴等に係る補聴器購入の助成制度がある市町村は。

**答** 令和6年10月末現在においては、県内63自治体中、16自治体が助成制度を導入しています。

**問** 聴力の低下に悩む高齢者が社会的に孤立することのないよう、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った補聴器を活用できる環境を整える、購入費用助成制度創設の考えは。

**答** 高齢者福祉サービス全体の状況を見直す中で、既に導入している他自治体の状況も踏まえ、前向きに検討します。

**問** かわみんタクシーが利用できる町外病院の拡充は。

**答** 川島町地域公共交通会議で、サービス提供の拡充について検討する中で、隣接する市町にある病院の拡充についても検討してまいります。

**問** 持続可能な公共交通として、かわみんタクシーは十分なサービスの提供をできているのか。

**答** ご利用になる際、多くの待ち時間が発生していたことを踏まえ、12月2日から新たに事業者を追加して運行しております。

**問** 歩行者が、安全に横断待ちができる滞留場所がない、かわじま中央通り「表交差点」の安全対策は。

**答** 地域にお住いの皆様や通学生徒の安全確保のため、早急に警察や東松山県土整備事務所などの関係機関と調整を図り、横断歩道の移設や区画線の設置、ポストコーンなどの安全対策を実施できるように検討してまいります。



▲自分に合った補聴器を使うと対話も弾む

**問** 安心して暮らせるための河川整備は

**答**

国・県と連携し災害への備えを充実させます



菊地 敏昭 議員

**問** 安藤川等の治水対策と入間川流域治水対策プロジェクトは。

**答** 入間川・越辺川は河道掘削・築堤工事・遊水地整備計画が進められています。内水対策では、安藤川は今年度から上流部の測量に着手し、開削工事により流下能力と貯留機能も向上すると考えます。

**問** 飯島雨水幹線工事計画と工事完了時期、今までの費用は。

**答** 計画の約72%、1万75mが完了し全線完了は未定です。費用は約50億7400万円です。費用は19億5433万円の補助を受けています。

**問** 平成の森公園の外周歩道の樹木が大きくなり、歩道のひび割れを起こし、一部撤去されたが今後の予定は。

**答** 令和6年度までに北側310mの整備が完了し、南側約400mは、3年間で整備を進めます。

**問** 町有地に植栽された樹木が成長し、電線にかかっているが。

**答** 建物の建築と併せ、計画的に植栽されものが大部分ですが、一



▲測量が始まった安藤川

部電線にかかっているものもあり、剪定又は伐採を実施します。

**問** 秋に開催された大イベントの各々の参加人員は。また、駐車場の確保が大変だったと聞くが。

**答** カーフェスティバルin川島は約7千人に会場いただき、駐車場の整備は19名で約31万2千円の費用です。かわじまランタン祭では約9千人の来場があり、駐車場の1千600台用意し、バス4台でシャトル輸送しました。費用は4台で46万円です。駐車場の整備費用は28名で約45万9千円です。次年度に向けて研究します。

**問** 税を考える週間から見た支え合う地域づくりについて

**答** 町ぐるみで地方創生を推進します



小高 春雄 議員



**問** 春夏秋冬イベントができるように観光振興課の創設を

**答** 5年後・10年後を見据えて考えていきます



加藤 進 議員



**問** 税の関心を高め、正しい知識を深めてもらうと、国税庁は例年「税を考える週間」を設定して全国の中学生に「税についての作文」を募集している。当町では、川島中学校から178編、西中学校から183編が寄せられた。作文には、税金は身近な生活から介護、復興など、さまざまなところで使われ、また、私たちも税に支えられて勉強できていることなどが書かれている。町民にもっと関心を持ってもらえるよう、町の歳入・歳出に、税金がどのように使われているか細かく知らせることが大切と思うが、町の考えは。

**答** 毎年、広報で「決算報告」をお知らせしていますが、「わかりやすく」は重要なことから、周知方法を工夫してまいります。

**問** 納税者をもっと税を理解し、町政運営に関心を持ってもらえるように、納税者を対象とした「税の標語」の募集も一つの方策では。

**答** 納税者である大人を対象とした「税の標語」は、全国的にも初

の試みとなるので、関係機関と調整を図りながら、前向きに検討いたします。

**問** 国民民主党が主張する「103万円の壁」が実現すると、町の減収額は。

**答** 基礎控除額が178万円に引き上げられた場合、およそ1億5千万円の減収が見込まれます。

**問** 税収とまちづくりは一体であると考えるが、町の考えは。

**答** 地方創生と合わせて広域行政を継続し、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。



▲令和6年度 中学生の「税についての作文」受賞者の皆さん

**問** 秋のイベントで4回目となるカーフェスティバルin川島と3回目を迎えたかわじまランタン祭は、今年も盛大に開催された。年々、盛況となり、大成功だったと考えるが、飲食できるスペースと駐車スペースはどのようであったか。

**答** カーフェスティバルin川島では、飲食できるスペースを増やしていきたいと考えています。また、駐車スペースは特に問題なく7千人の来場者をこなせたと考えています。

かわじまランタン祭では、9千人の来場者数でしたので、バスを4台使用し、2か所の臨時駐車場からシャトル形式でバスを運行しました。

**問** 夏と冬にもイベントができるのか。また、観光振興のために新たに観光振興課を創設する考えは。

**答** 5年・10年後を見据えて考えていきます。

**問** 不登校児童・生徒の現状と、いじめによる不登校の人数は。

**答** 不登校の人数は年々増加して

いるのが現状です。しかし、オンライン支援での教育メタバースで、授業に参加している児童もいます。なお、いじめでの不登校者の情報はありません。

**問** 中学生の不登校だが、高校受験や進路への影響と家族への対応はどのようか。

**答** 高校受験への対応は、三者面談をしたり、家庭訪問をしたり、一人一人の状況や希望に合わせて対応をしています。また、保護者に対しても悩みを聞き取り、意見交換や情報共有などを行っております。



▲3回目を迎え、盛況だった「かわじまランタン祭」

問

闇バイトから子どもたちを守るには

答

自分事として捉えることが重要です



山崎 宣佳 議員



問 町が把握している特殊詐欺や闇バイトの被害は。

答 特殊詐欺は、本年度9月末までに、4件、354万円の被害が発生しています。闇バイトの被害等は発生していません。

問 特殊詐欺や闇バイト等の犯罪に巻き込まれないため、町が行っている取組は。

答 ①のぼり旗の設置や青パトでの巡回、防犯パトロールなどの啓発活動②防災行政無線や「かわべえメール」などでの注意喚起③社会福祉協議会の高齢者向け講座やいきいきサロンでの被害防止のサポートを行っています。

問 闇バイトの加害者にさせないための学校の取組は。

答 個人情報の保護やインターネットの適正な活用を指導しています。さらに、警察官や専門家を講師に非行防止教室や薬物乱用防止教室を開催し、SNSの正しい使い方や闇バイトの危険性も指導しています。生徒自ら「自分事」として捉えられるよう取組を進め

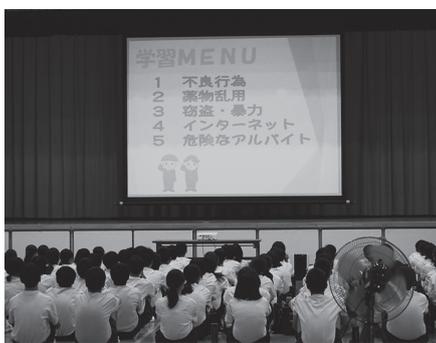
ています。

問 一人1万円分の電子マネーを高校生466人に配布したが、44人が引き換えずに無効となった。町の受止めは。

答 想定以下の交換率で検討すべき課題と認識しています。

問 高校生の通学支援策として事業の継続、拡大は。

答 継続の考えで課題を整理していきます。拡大は財政状況を見て検討していきます。



▲専門の講師を招いて開催した非行防止教室(西中学校)

問

給食費の無償化の対象を拡充する考えは

答

制度を導入して2年目なので今のところありません

問 学校給食費第3子無償化の補助の要件として、第1子の年齢に上限はないが、高校卒業までとした場合は、無償化の対象人数と費用はどうか。

答 第2子を半額、第3子を無償化した場合は、対象人数は135人で費用は481万円です。また、第2子と第3子を無償化した場合の費用は603万円です。

問 現在、学校給食費の無償化は第3子以降が対象になって168人分を856万円の予算をつけているが、第2子から無償化など、対象を拡充する考えは。

答 制度を導入して2年目なので、今のところありません。

問 学校給食に地場産野菜等の活用状況はどうか。

答 新たに3名の新規就農者、地元納入業者からニンジン・タマネギ・ジャガイモを納入して活用しています。児童生徒が口にすることで、新鮮かつ生産者の顔が見える安心な食材を使用していきたいと思えます。今後も、農



渋谷 幸司 議員



家とのマッチングを進めていきます。

問 マイナ保険証の利用登録解除の申請状況はどうか。

答 10月28日から利用登録の解除ができるようになりました。現在のところ、国民健康保険で2件、後期高齢者医療保険で4件の申請がありました。

問 利用登録を解除できることが、広報やホームページで十分に知らされていない。今後の周知方法は。

答 広報等にマイナ保険証の利用登録解除についての記事を掲載します。



▲給食に地場産野菜の活用が進んでいます

**問** 新ごみ処理施設建設予定地周辺の堤防強靱化は

**答** 堤防は第四調整池の整備と河道掘削等が計画されています

**問** 豪雨災害に備えた、荒川流域の治水対策や高台整備の状況は。

**答** 国は「荒川水系流域治水プロジェクト」を立ち上げ、実際に氾濫が起きた箇所から重点的、かつ、危険度を考慮し整備箇所を決めているとのこと。

高台避難場所整備事業は、事業地の用地買収に着手し、進捗率は57・1%です。水路整備工事は、下流部の延長51mを予定しています。

**問** 新ごみ処理施設建設候補地三保谷宿(南)付近は、荒川上流河川事務所直轄河川重要水防箇所となっており、53・6km付近は重要度(越水、破堤跡)が高く、町の洪水ハザードマップも54・4km付近が想定破堤点となっているが、新ごみ処理施設の治水対策はどのように進めるのか。

**答** 荒川堤防の54・4km地点が破堤した場合の想定最大浸水深が約7・5mとされていることから、新ごみ処理施設ではプラットホームを約6mの高さに設けるとともに、止水板等の浸水対策を予定している。



▲町ハザードマップ想定破堤点(54・4キロ付近)の天端の状況

ます。なお、造成盛土高は原則2mを予定しています。

**問** 町の温室効果ガス排出量を50%以上削減するためには、一層のごみの減量化が必要である。焼却処分している剪定枝等を分別収集し、堆肥化を行い、生成物の利用を推進するといったリサイクルを考慮した取組が必要では。

**答** 堆肥化は、学校給食センターや環境センターで実証実験などを行ってききました。引き続き、各種事例等の情報収集に努め、町に合った取組を検証していきます。



粕谷 克己 議員



**問** 動物愛護について取り組んでいる施策は

**答** 県の計画に基づき、譲渡会等を行っています

**問** 犬、猫の殺処分をできる限り減らし、最終的にはゼロにすることを目指すため、町は、どのような施策に取り組んでいるのか。

**答** 埼玉県動物愛護管理推進計画で掲げる「殺処分ゼロ」の目標に賛同し、町が主催し県動物指導センターや東松山保健所、動物保護団体のご協力の下、保護犬・保護猫譲渡会を開催しています。譲渡会は昨年度に引き続きのもの、今年度は犬15匹、猫8匹が参加し、譲渡希望の方も見つけれたと聞いています。今後も年一回の開催を継続していく予定です。

また、飼い主のいない猫の繁殖を抑制するとともに、地域の公衆衛生の向上、住民の生活環境への被害の削減と保全を図ることを目的に、令和4年度から「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加しています。令和6年11月19日時点で、合計80匹の無料手術チケットの使用がありました。

**問** 令和4年、動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、犬



▲町が主催した譲渡会の様子、新しい家族を待っている保護犬たち

猫へのマイクロチップの装着、登録が販売業者には義務化、個人の飼い主には努力義務化された。また、この制度に係る狂犬病予防法の特例制度が開始されたが、町として制度を活用する考えは。

**答** マイクロチップの装着の努力義務と情報登録システムへの登録義務は、早速、町のホームページに掲載しました。また、装着したマイクロチップを市町村長が交付した鑑札とみなすという、狂犬病予防法特例制度の導入に向けて、今後、前向きに検討してまいります。



井上智恵 議員



# ごみ処理施設整備特別委員会視察研修

令和6年10月10日(木)・11日(金)

## 視察先

- ・須賀川地方衛生センター（福島県須賀川市）
- ・エコパークしおや（栃木県矢板市）

## 須賀川地方衛生センター

（須賀川市）

須賀川地方衛生センターは、管内3市町村（須賀川市、鏡石町、天栄村）合計8万9千人余りの可燃ごみを処理する施設として整備されました。

この施設は、阿武隈川の支流、滑川沿いの既存施設敷地内に建設され、平成31年3月に竣工しました。施設は、浸水想定区域内のため、地盤のかさ上げや止水板の設置のほか、制御装置や電気室を2階に設置するなどの対策が施されています。処理方式は、ストローカ方式で、ごみの焼却熱を利用して発電し、場内外での利用のほか、余剰電力を売電しています。売電益で約1か月分の維持費を賄っているとのことでした。事業手法は、DBO方式を採用しており、故障やトラブルへのスムーズな対応と安定した施設稼働を実現しています。

## エコパークしおや（矢板市）

エコパークしおやは、管内2市2町（矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町）約11万2千人のごみを処理する施設として、令和元年10月から本格稼働しています。①エネルギー

回収型廃棄物処理施設②マテリアルリサイクル推進施設③余熱利用施設で構成されており、①の施設はストローカ式焼却炉で、ごみの焼却熱を利用した発電により、場内利用や温浴施設に利用されています。また、余剰電力は売電し、売電益は約0.4か月分の維持費を賄っています。

## （視察を終えて）

2つとも、町内に建設を予定しているものと同規模の施設で川沿いに建設されており、さまざまな浸水対策がされていました。また、将来を見据えた用地の確保や耐久性・信頼性の高い処理方式（ストローカ方式）、安定的な運営が確保されているDBO方式なども学ぶことができ、参考になりました。



▲須賀川地方衛生センターは、余剰電力による売電益で約1か月分の維持費を賄う

## 川島町議会活動レポート

### 岐阜県美濃市議会が行政視察に訪れる



▲「川島町の小中一貫教育」を視察

10月25日、岐阜県美濃市議会民生教育常任委員会（議員5人、事務局1人）が川島町を訪れ、「川島町の小中一貫教育」の取組を行政視察しました。当日は、当町の教育委員会の職員が、これまでの経緯などの説明をしました。

### 町議会議員による町内企業視察



▲展示ルームで製品の説明を受ける（天昇電気工業）

11月7日、議員13人出席の下、議員クラブ（小高春雄幹事長）による町内企業視察を行いました。午前中はプロロジスパーク川島（かわじま2丁目）、午後には天昇電気工業（上大屋敷）に行き、担当者から企業の概要や業績などの説明を受けました。議員からも活発な質問が出されるなど、有意義な研修となりました。

